

達成度：H28.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 企画財政課の目標（平成27年度）自己評価書

企画財政課長 大崎 智行

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 総合計画の進行管理（企画総合調整班）</p> <p>第5次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、前期基本計画において予め設定した戦略的・重点的に取り組む成果指標の達成状況について把握するとともに、実施計画を毎年見直し、施策を効果的に実施するための進行管理を行います。</p> <p>また、後期基本計画の策定に向けた調査研究等を行います。</p>	4	<p>第5次酒々井町総合計画前期基本計画に掲げる主な事業の進捗状況や達成度を把握し数値化することで、毎年継続的な見直しや改善を図り、事業の効率的な推進に努めるとともに、後期基本計画の策定に向けた調査研究等について、住民アンケート等基礎的調査を実施しました。</p>
<p>2 町プロモーション活動の推進（企画総合調整班）</p> <p>酒々井町は、緑豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、史跡や神社・仏閣などが多い歴史のある町であるとともに、公共交通機能も整い住環境に恵まれた魅力あるコンパクトな町であり、日本でいちばん古い町として歩み続けています。その“ふるさと酒々井町”を全国に情報発信するために各関係機関・団体やメディアなど各方面へのシティプロモーション活動を実施するとともに、併せて、インターネットやSNSなどの新たな情報発信の方策等について検討します。</p>	4	<p>各企業や全国イベント等においてトップセールスを多数実施するとともに町マスコットキャラクターを活用し、日本でいちばん古い町酒々井町の優れたまちづくりについて積極的にPR活動を行いました。</p> <p>庁内ワーキングチームが中心となり、SNS等新たな情報発信の方策等の有効性と導入方法等について検討を進めました。</p>
<p>3 町マスコットキャラクターの活用（企画総合調整班）</p> <p>町のブランド力を高める魅力づくりや「郷土・酒々井」に愛着と誇りを持ち、住んでよかったと思える、満足度の高い自立したまちづくりを進めていくため、その推進役となる町マスコットキャラクター「井戸っこ（しすいちゃん）」を積極的に活用することで、町民の郷土愛を育むとともに町のイメージアップを図ります。</p>	4	<p>町マスコットキャラクターと新たに整備したラッピングカー井戸っこ号（移動用ワゴン車）を活用し、町内外のイベントに参加し、日本でいちばん古い町酒々井町のまちづくりについて積極的にPR活動を行いました。また、町内の子どもたちとふれあい、郷土愛醸成に努めました。</p>

<p>4 交通事情等をふまえた交通環境の改善に向けた総合的な検討（企画総合調整班） 町内の交通事情等を把握し、円滑な交通と歩行者などの安全な通行等、交通環境の改善に向けた対策案などを検討します。</p> <p>5 情報発信手段の拡大（広報広聴班） 情報の取得手段が多様化し、各年齢層でその方法にも特徴があると考え、情報を発信する側である町も既存の広報ニューしすいの紙面による情報提供に加えて、ネット296などのケーブルテレビや、千葉テレビのデータ放送等に積極的に情報提供を行っていきます。 また、町のホームページ上にあるWeb版の広報では、必要な情報に素早くたどりつくように、知りたい情報がどのカテゴリに内在するのか、すぐわかるように見出し等に工夫を加えていきます。</p> <p>6 広聴活動の充実（広報広聴班） 広聴活動は、町政に対する提言等を聴き、よりよい町政運営を推進する上で重要な役割を担っています。引き続き関係部署と連携して、的確な広聴活動の周知を図ります。</p> <p>7 国勢調査の遂行（広報広聴班） 今年度の統計調査は、実査としては「国勢調査」1調査の実施となります。また、準備としては、平成28年実施予定の「経済センサスー活動調査」の準備作業となります。 国勢調査については、既に町内157調査区が設定され、業務の遂行には119名（予定）の調査員の確保が必要となりますが、今回から導入される利便性を活かしたインターネット調査（オンライン回答）を推奨することにより、高齢化傾向にある調査員の負担軽減とあわせ、若年世帯を中心に全体の約1割（1,000世帯）以上のオンライン回答を目指し、回答率の向上に努めます。</p>	<p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>新たな方策等について調査研究を進めるとともに庁内関係部署との情報等共有に務めました。</p> <p>関係部署と連携して、広報ニューしすいで町の取り組みや政策課題などの行政情報等を提供できました。 新聞の購読者が減少する中、広報ニューしすいをスマートフォン・タブレットで気軽に閲覧できるように「i 広報紙」の配信を始めました。 町のガイドブックとして町民の暮らしに役立つ情報をまとめた「くらしの便利帳」と行政機関として発信する情報をまとめた「町政便覧」について、関係各課の協力により最新の情報に更新しました。</p> <p>法律相談や心配ごと相談など各種相談事業を含めて、広報ニューしすいや町ホームページに掲載し、町民に的確な広聴活動の周知を図りました。</p> <p>国勢調査については、各自治会等に調査員の確保を依頼し、114名体制で町内157調査区の調査を実施しました。今回の調査から導入されたインターネット調査（オンライン回答）の当町における回収率は40.6パーセントと当初の予想を大幅に上回り、調査員の業務の負担軽減になりました。</p>
--	-------------------------------------	--

<p>8 財政健全化の推進（財政班）</p> <p>財政の健全化を図ることが重要であることから、全体事業を見直しながら、簡素で効率の良い予算執行を指導します。予算編成に当たっては、酒々井町財政健全化計画により、現状を把握しながら歳出の削減と歳入の確保に努め、財政の健全化に努めます。</p> <p>9 新地方公会計制度への取組（財政班）</p> <p>自治体の財政状況を総合的かつ長期的に把握するため、新たな地方公会計制度によるバランスシートを主とした財務諸表の整備を進めます。</p> <p>10 ファシリティマネジメントの推進（管財班）</p> <p>町有施設等が老朽化しているとともに人口構成の変化等により利用需要が変化することが予想されるため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するために酒々井町公共施設等総合管理計画を策定します。</p> <p>チャレンジ目標 『 地方創生の推進』</p> <p>酒々井町を含め、今後、人口が減少に転じ、少子化・高齢化が一層進展することが見込まれており、人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成などが課題となっています。</p> <p>そこで、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国及び千葉県が策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案しながら、町の実情を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生を推進していきます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p>	<p>財政健全化判断比率については、各比率とも健全レベルにありますが、今後の人口減少・少子高齢化による社会保障費等の増大に配慮し、特に地域福祉基金・減債基金等への積立を行いました。</p> <p>新たな財務諸表作成に必要な固定資産台帳の整備について、各課への説明会・対象固定資産関係データの入力、取りまとめ等を行い全庁的な取組みを行いました。</p> <p>公共施設等に関する各種データの整理や今後の更新費用等の推計等を行い、酒々井町公共施設等総合管理計画を策定しました。</p> <p>酒々井町まち・ひと・しごと創生本部を設置するとともに外部有識者会議となる「ふるさと酒々井創生アドバイザー会議」等により検討を重ね、住民への意見募集を実施し、酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。</p> <p>地方創生先行型（上乗せ含む）交付金と地方創生加速化交付金など有利な財源を確保、その活用方策を町全体で検討するなど積極的に取り組むことができました。</p>
---	-------------------------------------	--